

警察ネット市民集会

ご報告

高田昌幸

埋もれていた事実を掘り起こし
継続して報道していく

調査報道は社会を変える
調査報道で社会を変える

**戦前・戦中、ジャーナリストの諸先輩は、
さんざん国民を騙してきた。
その結果責任は極めて大きい。**

**もう二度と、
ジャーナリストは市民を騙してはいけない。
そのためには、
ジャーナリストが権力に騙されてはいけない。**

The screenshot shows the homepage of FRONTLINE PRESS. At the top, there is a navigation bar with links: オリジナル記事, おすすめニュース, 調査報道アーカイブス, HOW TO 調査報道, RADIO, ABOUT US, and タグで探す. To the right of the navigation bar is a search bar labeled "検索ワード". Below the navigation bar is a large banner with a dark background featuring a starry nebula. The text "誰も知らない世界を 誰もが知る世界に" is displayed prominently in white. Below this text, smaller text reads: "ニュースをより深く知りたい人と、届けたい取材者のための 調査報道ポータルサイト". The FRONTLINE PRESS logo, which consists of a stylized blue circle icon followed by the text "FRONTLINE PRESS", is located at the top left of the main content area.



警察 不正経理問題

道警裏金問題から20年

検査費・検査用報償費

その裏金化とその報道とは？

警察との「二人三脚」をやめる

「いつも権力のポチ」をやめる

2003年11月

報道開始

「ポチ」
をやめた

調査報道記事の連続

2003年(平成15年)12月3日(水曜日) 第21975号(日刊)

報償費不正 道警ぐるみか

慶弔や交際に利用 現職幹部、OB証言

90年代後半

北海道新聞
2003年12月3日
発行所
北海道新聞社
〒065-0711
札幌市中央区大通西3丁目7番地
電話 011-221-2111

2003年(平成15年)12月7日(日曜日) 第21979号(日刊)

道警「報償費」OB証言 「協力者」印鑑500本常備 架空の検査で旅費請求 会計書類 不正随所に

北海道新聞
2003年12月7日
発行所
北海道新聞社
〒065-0711
札幌市中央区大通西3丁目7番地
電話 011-221-2111
読者センター
電話 011-210-5888
ホームページ
<http://www.hokkaido-np.co.jp>

中道機械
環境施設で自然を守
内内のコースをトコトコ歩くベンギンたち=6日午前、旭山動物園(佐野時勝撮影)

2003年12月

警察VS報道

全面対決へ

裏帳簿

秘密書類

2004年(平成16年)2月26日(木曜日)

弟子屈署の裏帳簿入手

96—2000年度分
報償費・検査費

幹部ヤミ手当記載 署長に1回4—6万円

元署長「見たことない」

「済み」は「済まされた」という意味で、主に「済まされた」といふ形で使われる。たゞ、この用語は、主として「済まされた」といふ形で使われる。

署長の北澤謙の「済帳簿」は、フロッピーディスクに保存されていた。それと、その文書には「検査費」と「報償費」の出納状況が分明に記されている。

道警に「裏金指南書」

東京電機大学防災工学科「建築構造工学」

4) 防災構造の実験研究
実験室では、模型を用いて、地震による構造物の挙動を調べる。その結果によれば、以下のようなことが明らかにならない。
○ 風荷重が大きくなると、構造物は倒壊する。
○ 風速が一定として風速が高くなつたときに、倒壊する。
○ 風速がある。
○ 近時は強度の考慮と同時に耐久性の問題が注目されている。
○ 作成、経営の便益についてでも何らかの実験を行つて、それをもとに論議する。
○ たとえば、建物を倒さない、倒すと危険であるなどと議論する。

信ぴょう性疑われるな 内部告発念頭に 不適格者は排除

警察文

組織防衛

道警が会計書類改ざん

公用車の運転手、「駕籠山道」、
「御殿山道」や「御殿山道
昔禁なみ」として、
に使われて、
車を運ぶため、
運びたがり、
食事問題、毎かられ事
件などの怨が後藤
行われたといい。
英勝・英勝は、
たる者と並んで、
この間に、

專題問題

監査対策で工作か 複数言が先月「幹部が指示」

北海道新聞

2004年
5月10日
発行所
北海道新聞社
〒060-6711
札幌市中央区大通西3丁目8番
電話 011-221-2111
読者センター
電話 011-210-5888
ホームページ
www.hokkaido-np.co.jp

不正を隠蔽

道警の裏金書類改ざん
問題で、こうとう道警の部(財政改ざん課)まで捜査した。改ざんが確認された後職員の不正行為かどうかは明らかではないが、別の署長官から「もう謝れられない」という悪意あるが脅迫。裏金の虚偽会計の中、
「これ以上、出金強制が出来たら個人の責任だ」という上司の下、「ほざん」を証言した警察官の声を聞いた。

指示巧妙 署員悲痛

捜査せずに毎晩小細工 ばれたら責任負わされる…

どこまでも隠蔽

責任は“下へ下へ”

道警本部長、裏金認める

A black and white profile photograph of a man's head and shoulders. He is facing right, wearing round-rimmed glasses and a dark suit jacket over a white shirt. The background is plain.

「システム触れず」批判

金剛の「第1章」は、必ずしも第三章の身体か。『魔界の魔界の魔界』は、金剛の「第1章」である。金剛の「第1章」は、必ずしも第三章の身体か。『魔界の魔界の魔界』は、金剛の「第1章」である。

詳細すべて「調査中」

責任は下へ

北海道警察 元釧路方面本部長 原田宏二氏の北海道議会での証言（動画） 2004/03/04

https://www.youtube.com/watch?v=qopEK_dtsbU



驚愕の「稲葉事件」

稻葉事件 その背景

The image shows a newspaper clipping from the Asahi Shimbun, dated April 2004, page 1. The main headline reads "搜査費大半裏金に" (Most of the investigation costs were covered by the informant's reward), with a subtitle "道警銃器対策課" (Road Police Gun Control Unit). Below the main headline is another section titled "稲葉事件の背景にも" (Also in the background of the Inaya Incident) with the subtitle "現金不足" (Cash shortage). The text discusses the financial burden of the investigation on the police department. A small photo of a man in a suit holding a rice leaf is also visible.

暴力団と警察

手を結ぶ

道警と函館税関「泳がせ捜査」失敗

覚せい剤130キロ道内流入?

2000年、石狩湾新港に

大麻も2トン、密売格150億円超

捜査関係者ら 複数が証言

稲葉元警部の上申書にも

道警と函館税関による「泳がせ捜査」が失敗した事件について、複数の関係者が証言する。また、稲葉元警部の上申書にも、この事件について記載されている。

【摘要】
2005年3月13日(日曜日) 2005年(平成17年)3月13日(日曜日)

【本文】

道警と函館税関による「泳がせ捜査」が失敗した事件について、複数の関係者が証言する。また、稲葉元警部の上申書にも、この事件について記載されている。

【証言】

複数の関係者が証言するところによると、2000年に石狩湾新港で発見された覚醒剤130キロは、北海道内に流入した。また、大麻も2トン以上密売され、総額150億円超の密売格である。

【稲葉元警部の上申書】

稲葉元警部の上申書によると、この事件について記載されている。

【結論】

道警と函館税関による「泳がせ捜査」が失敗した事件について、複数の関係者が証言する。また、稲葉元警部の上申書にも、この事件について記載されている。

そして
稻葉事件へ



道警裏金問題から20年

広島県警で発覚した不正とは

調査報道グループ「フロントラインプレス」が Webメディア「スローニュース」上で公開中！

The screenshot shows the homepage of SlowNews. At the top, there is a large banner with a lit lightbulb and the text "We are BIAS BREAKERS.". Below the banner, the navigation menu includes "ホーム", "独自スクープ", "メンバーシップ", "登録できない方へ", "連載", and "会員向けイベント". A main article is displayed with the title "男性の育休取得率が100%の社とゼロの社の違いは？ 残業時間は？ データから見るメディアの職場環境③". The article features a photo of a person holding a smartphone.



The image contains two side-by-side screenshots of the SlowNews mobile website. The left screenshot shows a news article with a red circle around the headline: "「広島県警の不正認定がおかしい」「検査費が明らかにされてない」元警察官が実名で..." and a video thumbnail below it. The right screenshot shows a list of featured stories with a red circle around the first item: "広島県警の不正経理事件". Both screenshots show the same layout with a header, sidebar with "メンバーシップ" and "フォロー" buttons, and a footer with social media links.

<https://slownews.com/m/m36a9b299bd2c>



SlowNews
スローニュース

広島県警の不正経理事件

18本

広島県福山市内の警察署で2019年から2020年にかけ、組織の指示によるカラ出張が何度も繰り返され、実物のない「出張」に対する旅費や時間外手当などが公金から支出されていた疑いがあ...もっと読む

フォローする

SlowNews | スローニュース

記事 月別 ハッシュタグ

REPORT
捜査費は「不正とされた金額が少ないと」
県警の不正認定、豆子が変だ

REPORT
「不正とされた金額が明らかにおかしい」内部告発した元警察官の...
広島県警の不正経理問題を職中にカラ出張を公益通報（内部告発）し、これまでには匿名で取材に応...
SlowNews | ... 2時間前
♡ 3 □

SCOOP
警察「口封じの証拠」入手
警察内部での「口封じの証拠」を入手！
その内容から証拠隠滅の動きを明らか...
広島県福山市内の警察署を舞台とした不正経理問題は、不正を最初に察知したはずの広島県警監察官...
SlowNews | ... 2日前
♡ 6 □

SCOOP
ミコ者クラブ
SCOOP
SCOOP

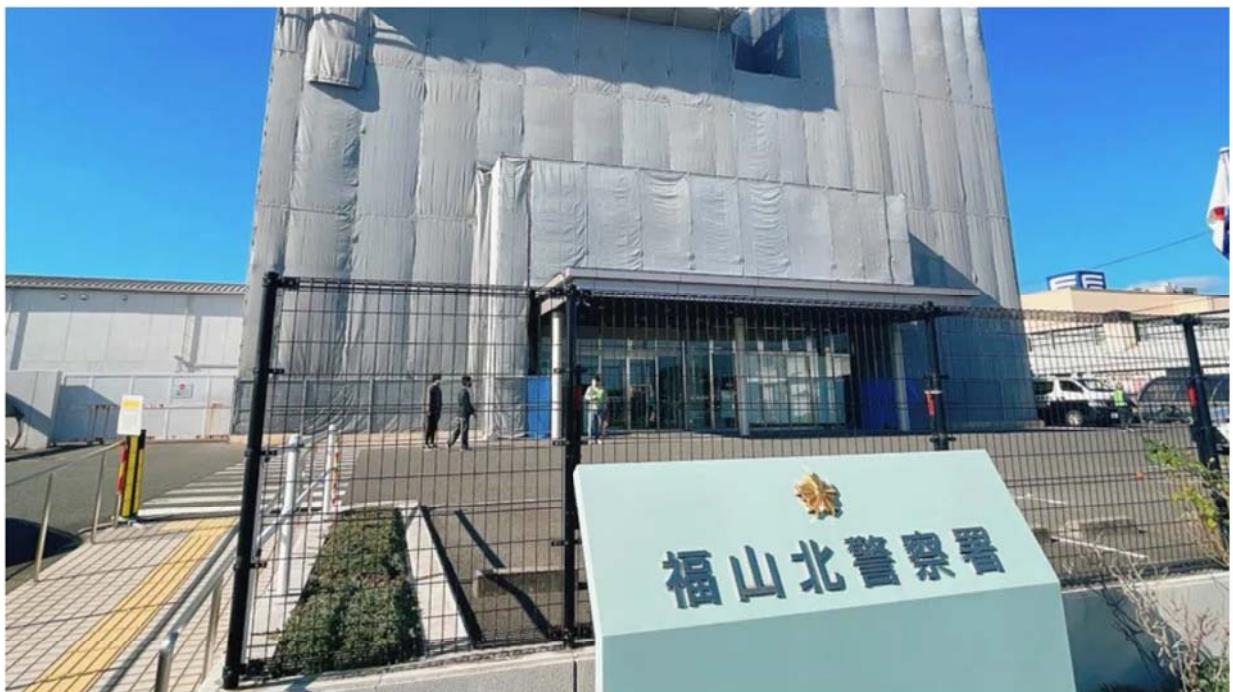
実名で記者会見に臨んだ元広島県警の警察官・栗根康智さん（右）、代理人の清水勉弁護士（左）

= 2023年12月13日、広島市内（撮影：スローニュース）



<https://slownews.com/n/n43ec569f278a>

不正経理の舞台となった広島県警・福山北警察署 (撮影: スローニュース)



<https://slownews.com/n/n43ec569f278a>

広島県警・福山北警察署の不正経理とは？

- ◎警備・公安部門の不正経理
- ◎特異なパターン（カラの指示、本人も旅費受給）⇒共犯関係に
- ◎在職中の公益通報（内部告発）⇒その後に実名会見
- ◎大手メディアの冷ややかな視線

捜査費不正の隠蔽、辻褄が合わせ…?

https://slownews.com/n/n43ec569f278a?magazine_key=m36a9b299bd2c

広島県警・福山北警察署警備課のカラ出張をめぐるポイント

項目	広島県警側の主張	元巡査部長・粟根康智さん側の主張
匿名者による告発の投書 (2021年2月頃)	長くその存在を認めていなかったが、2023年12月13日の記者会見に先立ち、粟根さんと弁護士が監察官に面談した際、監察官が匿名投書の存在を認めた。報道機関にその存在を認めたかどうかは不明。	投書が届くとほぼ同時に監察官が警備課長に漏えい。その結果、警備課長によって、運転日誌の廃棄などの証拠隠滅や課員への口封じが行われた。
粟根さんが在職中に行った公益通報（2022年3月）	公益通報を受理した場合は本人への受理通知しなければならないと条例で決まっているが、2023年夏までその通知はなかった。	公益通報の翌月、粟根さんは監察官にカラ出張の実態や口封じの件などを説明（録音あり）。しかし監察官室は動かず、事案を放置。
警備課のカラ出張	2019年4月からの約2年間に計32回は認定。ただし証拠がなく、送検できたのは18回。	県警の認定と全く合わない。
カラ出張についての釈明	出張は「課長+課員」で行うものだったが、警備課長は「複数の捜査員が出張すると署の体制が弱くなるため、出張の申請はさせたが、待機させた」と説明。課長自身、申請と別日に1人で出張したこともあるという。	カラ出張で署にいた際、他部署の者に見つかり、「カラ」がバレかけたことがある。以後、出張申請を出すと自宅待機を命じられるようになった。一方、この業務は複数の捜査員で動くことが必須であり、課長の「別の日に1人で」は計画に反する。

https://slownews.com/n/n43ec569f278a?magazine_key=m36a9b299bd2c

出張時の捜査費	言及なし。	出張先では捜査協力者に捜査費を渡すため、事前に現金が提出できるよう課長は署に請求の手続きをしていたが、部下は出張に行っていないため、捜査費の授受や所在は確認不明。
栗根さんの旅費と時間外手当	カラ出張は6回。6回分の旅費25,060円、および5回分の時間外30,580円を返還せよ。	カラ出張は6回。時間外も6回で、当時いずれも午前5時半～同8時半で申請手続きをしている。返還請求は5回しかないが、当時、申請書類が操作された可能性もある。また時間外の単価が毎回違つており、おかしい。

事件の捜査	警備部公安課が捜査した。	詐欺事案なので本来は刑事2課が担当すべきではないか。
事件の処理	12月8日に当時の警備課長ら3人を書類送検。このうち課長は減給1カ月の懲戒処分を受け、同日依頼退職。その他2人は「戒告」。	2022年春の時点で犯罪を申告（自首）し、逮捕・起訴も覚悟のうえだった自分自身が送検されず、罪に問われるのはおかしい。
栗根さんが送致されない理由	捜査したが、裏付けができなかった。	推測だが、検事の前に行けば県警にとって不都合なことをしゃべるため。また任意提出していた種々の記録を広島県は証拠物として検事に渡したくなかったため。
他の警察署などのカラ出張	言及なし。	2021年春ごろの口封じの過程で「他の署でもやっていることだし、心配するな」旨、言われた。課長は数カ所の部署名を具体的に挙げ、説明していた。

フロントラインプレスの調査報道はweb「スローニュース」で続々公開中です。

ぜひ有料会員になって支えてください。月500円です。



【スクープ】宮崎の警察が殺人事件の証拠を偽造か...
証拠物を撮影したSDカードを被告に不利なように改ざんした疑い 弁護側は証拠隠滅罪で警察署長らを告訴へ

権力に弱いマスメディア
いまも「当局との二人三脚」
が続いている
とくに警察取材で顕著

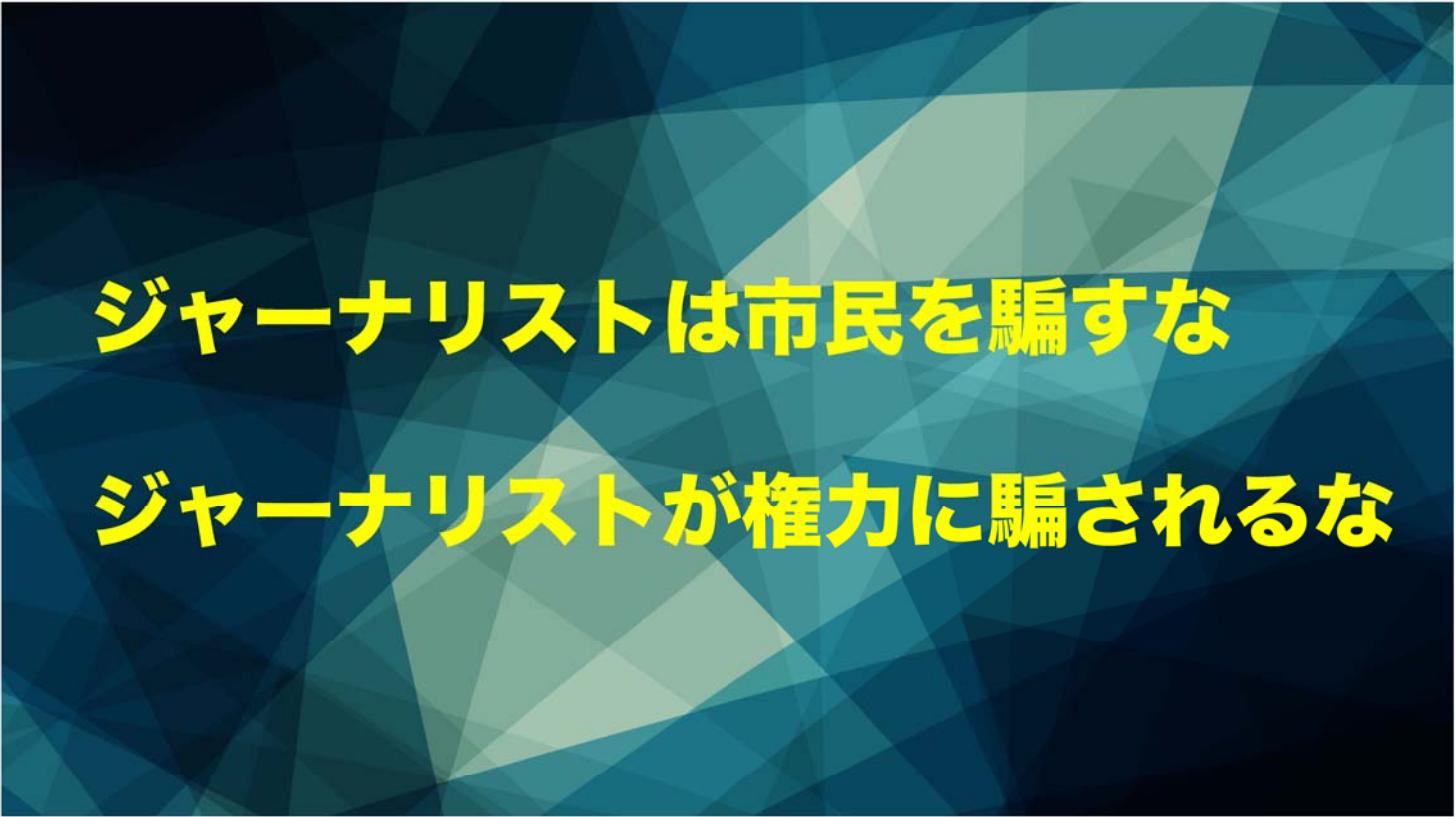
事件事故取材 その最大の情報源

警察の意に沿わぬ報道は可能か？

それでも「調査報道」は必要だ

「発表報道だけ」の世界

**突き詰めれば
宣伝・広報のみに覆われた世界**



ジャーナリストは市民を騙すな

ジャーナリストが権力に騙されるな



<https://www.kadokawa.co.jp/product/321401000048/>

眞実 新聞が警察に跪いた日

角川文庫